



教育学部に関するお問い合わせ
鹿児島大学 教育学部 学生係
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20-6
TEL 099-285-7741 FAX 099-285-7735
<https://edu.kagoshima-u.ac.jp>



Path To
Becoming a Teacher!



【編集・発行】 鹿児島大学教育学部
〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20-6
TEL 099-285-7741 FAX 099-285-7735
<https://edu.kagoshima-u.ac.jp>
発行年 2026年6月



教育学部

国立大学法人
鹿児島大学



2026

鹿児島大学 教育学部

目次

学部長あいさつ	1
教育学部の特徴	3
教育学部・大学院の構成	4
学校教育教員養成課程	5
カリキュラムについて	6
教育実習	7
地域連携・ボランティア	11
教育学領域	12
心理学領域・国語科	13
社会科・英語科	14
数学科・理科	15
技術科・家政科	16
音楽科・美術科	17
保健体育科・特別支援教育コース	18
キャンパスライフ	19
キャンパスマップ	21
学生生活について	23
Q&A	24
就職支援	25
教員になるにあたって	26
卒業後の進路	27
卒業生からのメッセージ	28
募集要項	29
地域教員希望枠・アクセス	30

学部長あいさつ

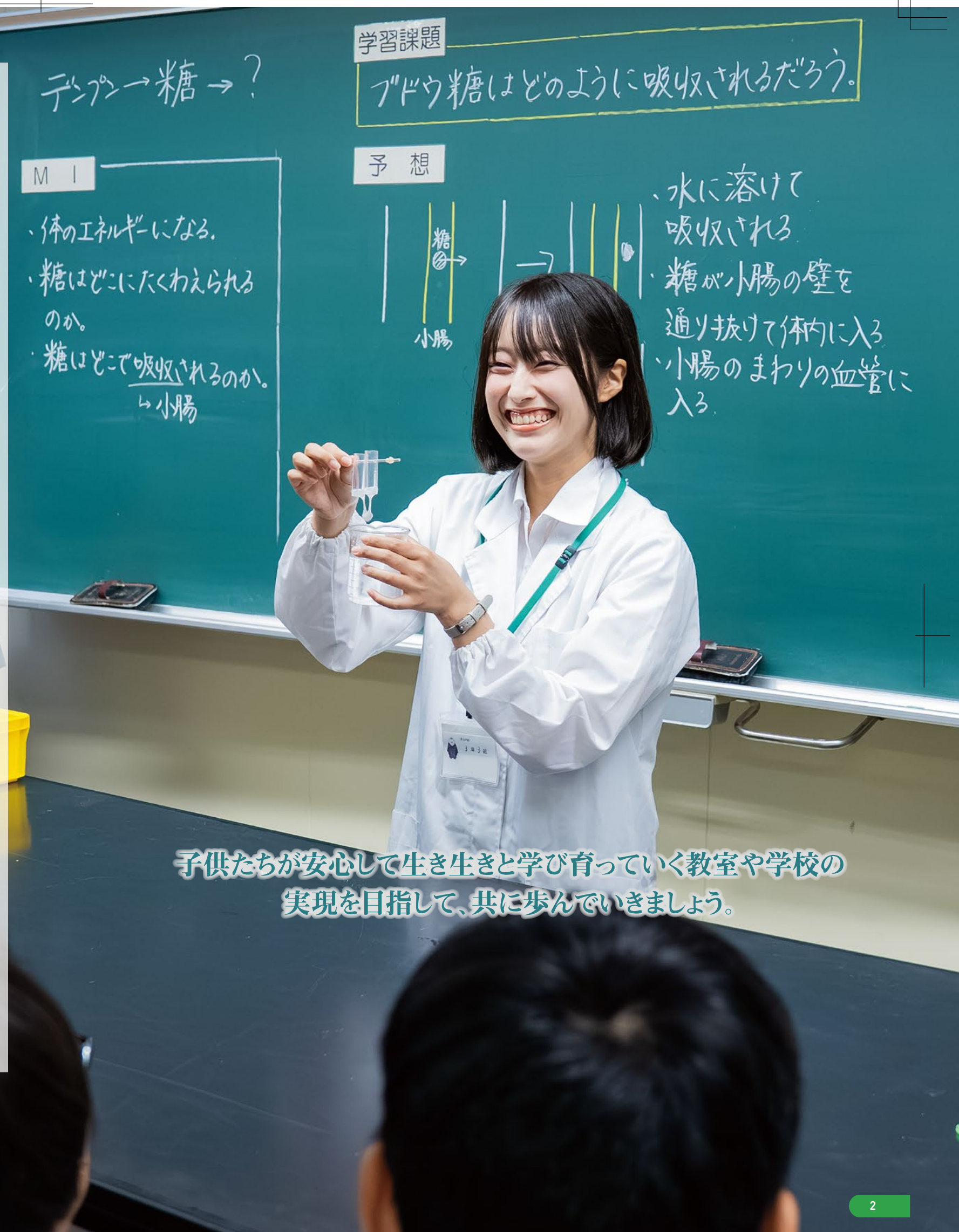


教育学部長
溝口 和宏

私たちの生きる21世紀は、社会の変化が激しく、将来予測が困難な時代であると言われています。学校教育もまた、大きな転換期にあります。ICTやAIの活用が当たり前となる学習環境の変化に加え、学びの在り方そのものも変わりつつあります。定型的な問題への正解を求める学習から、学んだ知識や技能を活用し、他者と協働しながら課題への最適解を見出していく学習への転換が求められています。さらには、子供たち一人ひとりの多様性を尊重し、その個性や発達の状況に応じた教育の実現も求められています。

こうした新時代の要請に応えるため、鹿児島大学教育学部では、学校教育教員養成課程の中に初等教育、中等教育、特別支援教育の各コースを設け、それぞれの学校種に応じた教育の方法を学ぶとともに、多様な個性やニーズ、発達の特徴をもつ子供たちに、的確な教育的対応のできる資質能力の育成に力を入れています。教育の概念や理論、教科の教育を深く学べる授業科目に加え、公立の小・中学校での学校体験や附属学校園・代用附属学校での教育実習など、1年次から4年次まで段階的に学びを深められる実践的な科目群を設けています。また南北600キロにわたる鹿児島県の教育の特徴をふまえ、離島・へき地教育、少人数教育や複式指導、遠隔教育にも対応できる実践力を備えた教員の養成を目指しています。

教師の仕事は、未来の世界を創る仕事です。自らの教育を通して、子供たちに学ぶことの楽しさや意義を伝え、その成長を支えていきます。多くの教師たちが時代を超えて受け継いできた教育の理想を大切にしながら、子供たちが安心して生き生きと学び育っていく教室や学校の実現を目指して、共に歩んでいきましょう。



子供たちが安心して生き生きと学び育っていく教室や学校の実現を目指して、共に歩んでいきましょう。

鹿児島大学教育学部の特徴

● 教育の専門家を総合的に養成

人間を取り巻く物理的・社会的環境の急激な変化やますます多様化する価値観の変化のなか、学校教育の場で活躍しようとする教師にはこれまでも増して幅広い視野と高度の専門性が求められています。

本課程では、初等教育・中等教育・特別支援教育の教職実践力、教科の専門的な力量、児童・生徒の理解力や生活指導力を高め、いじめ、不登校などの問題にも対応できる学校教育の専門家を育てます。



● 複数の教員免許状が取得可能なカリキュラム

初等教育コースは小学校教諭、中等教育コースは中学校教諭、特別支援教育コースは特別支援学校教諭の免許状取得に対応した4年間のカリキュラムとなっています。いずれのコースも、各学校種・各教科所定の単位を修得することによって、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭の一種免許状を取得することができます。

その他、学校図書館司書教諭や博物館学芸員などに関する所定の単位を修得することによって、これらの資格を取得することができます。



● 充実した「学校実習」と教育現場とのつながり

将来、教員となるための実践的指導力を高める「学校実習」は、きわめて重要な必修科目です。実習校と大学の両方の指導のもとで、それまでに学んだ知識や能力を活かして教科の指導にあたりるとともに、生活指導などの教科外活動、さらには学校や学級の運営について学びます。

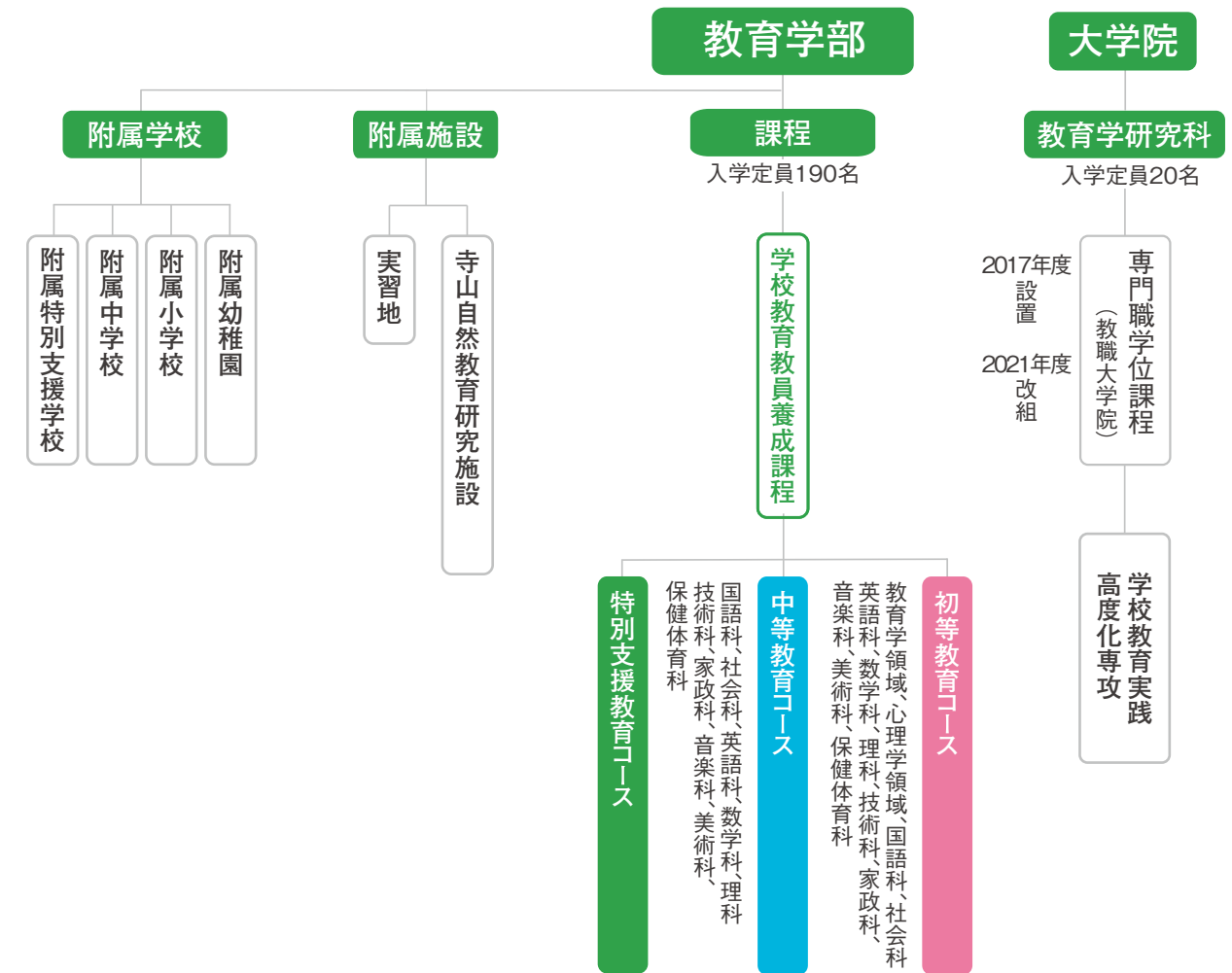
本学部の「学校実習」は、1年次に「学校体験実習」、2年次に「参加観察実習」、3・4年次に「事前・事後研究」、「教育実習」という一連の段階を踏んで実施される点に特徴があります。「学校実習」は附属学校園の他、代用附属学校や協力校のご協力を得ながら実施しています。

また、附属幼稚園、小学校、中学校が本学部と同一敷地内にあるため、「学校実習」以外でも互いに相談や協力をしながら授業や研究を行っています。



教育学部・大学院の構成

教育学部の学生は全員が学校教育教員養成課程に所属し、初等教育コース、中等教育コース、特別支援教育コースに分かれて学びます。また、大学院の教育学研究科は、2017年度から設置された専門職学位課程(教職大学院)です。



学校教育教員養成課程



初等教育コース



初等教育コースでは、小学校教諭免許状取得に対応したカリキュラムとなっており、それに必要な教職の基礎となる科目や小学校教科の専門科目を学びます。2年次から各自が卒業研究で希望する専門領域(教育学、心理学)や各学科(国語、社会、英語、数学、理科、技術、家政、美術)に所属します。なお、初等教育コース(音楽、保健体育)に入学した学生は、入学当初から教科は音楽と保健体育に確定することになります。

カリキュラムの特色

- 子供・学校教育の理解に向けた教職理解科目の充実
 ●学校教育相談 ●教育心理学 ●教職基礎論など
- 子供と教科内容を実践的に統合する教科教育学の展開
 ●国語科教育 ●算数科教育 ●初等理科教育概論 ●体育科教育 ●生活科教育など
- 専門科目
 ●小学校国語 ●基礎社会 ●基礎科学 ●くらしと技術 ●基礎造形Aなど

中等教育コース



中等教育コースでは、中学校教諭免許状取得に対応したカリキュラムとなっており、それに必要な教職の基礎となる科目や中学校の教科の専門科目を学びます。各自が所属する各学科(国語、社会、英語、数学、理科、技術、家政、音楽、美術、保健体育)の専門分野について深く学び、卒業研究に取り組みます。

カリキュラムの特色

- 生徒・学校教育の理解に向けた教職理解科目の充実
 ●学校教育相談 ●教育心理学 ●教職基礎論など
- 生徒と教科内容を実践的に統合する教科教育学の展開
 それぞれ所属する教科教育科目
- 所属する教科の専門科目

特別支援教育コース



特別支援教育コースでは、特別支援学校に勤務する教師の養成を目的とし、障害のある子供の自立(自律)と社会参加にむけた支援のあり方を求めて、基礎と臨床を融合させた研究・教育を行います。

カリキュラムの特色

- 特別支援教育に対応
 ●肢体不自由児の心理・生理・病理 ●病弱児の教育総論
 ●重複障害児教育総論 ●LD・ADHD等教育総論
- 基礎と臨床の結合
 ●特別支援教育総論 ●障害児の発達検査法 ●発達障害医学
 ●知的障害児の教育 I III

取得可能な教員免許状

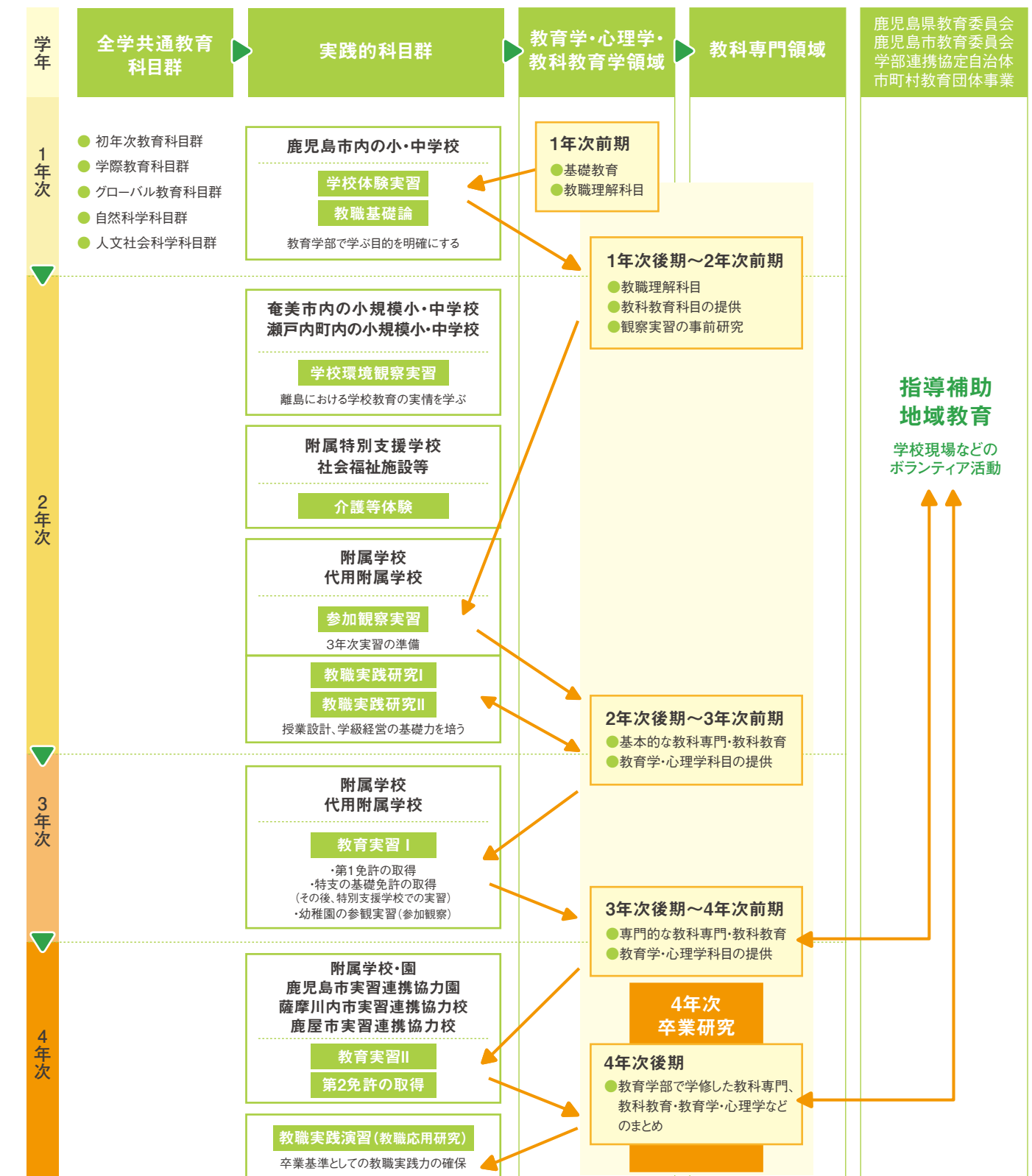
コース	教員免許の種類	資格等
学校教育教員養成課程 ●初等教育コース ●中等教育コース ●特別支援教育コース	●幼稚園教諭一種免許状 ●小学校教諭一種免許状 ●中学校教諭一種免許状 (国語、社会、英語、数学、理科、技術、家庭、音楽、美術、保健体育) ●高等学校教諭一種免許状 (国語、書道、地理歴史、公民、英語、数学、理科、工業、家庭、音楽、美術、保健体育) ●特別支援学校教諭一種免許状 (知、肢、病)	●学校図書館司書教諭 ●博物館学芸員

*卒業の要件を満たせば取得できる免許状がコース別に異なりますので、詳細は教育学部のホームページをご覧ください。

カリキュラムについて



本学部では、各学年に配置された「実践的科目群」「教育学・心理学・教科教育学領域」「教科専門領域」の3つの柱があります。各学年に配置された授業や学校体験実習、参加観察実習、事前・事後研究、教育実習という一連の段階を踏んで実施されます。本学部の独自の取り組みとして、2年次には離島での「学校環境観察実習」があり、また、自治体や関連団体との連携による教育現場の体験やボランティア活動なども盛り込まれています。4年間の万全なカリキュラム体制の下で、知識とスキル、思考・判断力、行動力を身につけた力量ある質の高い教師を育成します。



教育実習



本学部の「学校実習」は、1年次に「学校体験実習」、2年次に「参加観察実習」、3・4年次に「事前・事後研究」、「教育実習」という一連の段階を踏んで実施される点に特徴があります。「学校実習」は附属学校園の他、代用附属学校や協力校のご協力を得ながら実施しています。

● 学校実習のながれ

	コース等	3年次実習の準備			
		1年次	2年次	3年次	4年次
学校教育教員養成課程	初等教育コース	学校体験実習	参加観察実習	小学校実習	中学校実習または特別支援学校実習 幼稚園教諭免許希望者・幼稚園実習
	中等教育コース	学校体験実習	参加観察実習	中学校実習	小学校実習または特別支援学校実習 幼稚園教諭免許希望者・幼稚園実習
	特別支援教育コース 基礎免許(小学校)	学校体験実習	参加観察実習	小学校実習 特別支援学校実習	中学校実習 幼稚園教諭免許希望者・幼稚園実習
	基礎免許(中学校)	学校体験実習	参加観察実習	中学校実習 特別支援学校実習	小学校実習 幼稚園教諭免許希望者・幼稚園実習

※高等学校の教員免許状取得については、中学校での学校実習(教育実習)の単位でまかなうことができます。学校実習は附属学校園等にて行います。(母校での実習ではありません。)

附属幼稚園での実習の様子



● 1年次 学校体験実習

学生が初めて参加する実践的な教職科目です。附属学校(1時間)や公立学校参観を通して、教職について具体的に知るきっかけになります。

学校教育教員養成課程
初等教育コース理科

松元 美咲さん

今回の学校体験実習を通して、これまで漠然としていた教師像が、「児童一人ひとりの長所を生かしながらサポートできる教員になりたい」という、より具体的で強い思いへと変わりました。特に、実習先であった小学校では、児童一人ひとりの学習能力や特性に応じた教育の重要性を学ぶことができました。授業では、児童によって理解の速さや興味の持ち方が異なり、先生方はその違いをよく観察して支援していることに気付きました。たとえば、発表でつまづいた児童には考えを整理できるようなサポートを行い、学習が苦手な児童にはひらめきを促す声かけや補助プリントを活用するなど、それぞれに合わせた工夫がなされていました。その姿を見て、同じ授業内容でも児童に応じた柔軟な対応や工夫が必要であることを強く感じました。今後は、今回の実習で得た経験を生かし、児童一人ひとりの個性を理解し、その力を伸ばせるようなサポートができる教員を目指したいと思います。

● 2年次 参加観察実習

授業の観察等を通して3年次の教育実習に向けた準備を行います。

学校教育教員養成課程
中等教育コース国語科

五十嵐 滉生さん

参加観察実習では、教育現場で教壇に立っている先生方の授業や先輩の授業を参観させていただきました。実際に授業で使用されている指導案や教材、教具を見せていただき、自分の理想の授業の形を再構築することができました。また、現場で活躍されている教員の方々に質問できる時間もいただき、現場でしか分からない生徒と教員の関わり方、指導方法などを沢山教えていただきました。さらに、休憩時間や清掃時には実習先の生徒とコミュニケーションをとる機会があり、そこでは自分たちも教員として扱われることを自覚することになりました。今回の実習は自分にとって、来年に行われる教育実習に向けて自分は何をすればよいのかを具体的に考える貴重な機会となりました。

附属小学校での実習の様子



3年次 教育実習I

所属するコースの校種や教科の免許を取得するための実習です。

小学校実習

学校教育教員養成課程
初等教育コース音楽科

原田 恵李菜さん

教育実習を通し、子供一人一人の思いに寄り添うことが大切であることを学びました。初めは不安もありましたが、子供たちは温かく迎えてくれ、授業の準備を十分することで、落ち着いて授業に臨むことができました。また、想定外の出来事が起きても、慌てずに子供の考えを尊重しながら指導することが大切であると実感しました。さらに、子供の良さを褒めることで、子供は安心して学び、学習意欲の向上につながることも学びました。一方で、タブレットの活用や子供同士の意見共有の工夫など課題も明確になりました。教育実習では、実際に子供の姿を通して、自己の課題を見つけ、改善しようと努力することができました。大変貴重な経験をさせていただきました。

中学校実習

学校教育教員養成課程
中等教育コース技術科

東 宥任さん

生徒と関われる期待と授業を行えるのかといった不安で始まった中学校での教育実習は教師になりたいという私の意志を確かなものにする貴重な経験となりました。

大学で学んだ理論を、生徒を相手に教育現場で実践することは新鮮に感じたと同時に思うようにいかない部分もありました。それでも実習校の先生方の温かいご指導や実習を共にした実習生の先生方の頑張る姿、生徒の授業や学校行事に取り組む姿に感化されて頑張ることができました。

教育実習を終えて教師を目指す自身の成長を実感することができ、より良い教師になるための課題の発見といった今後の展望もより明確に開けました。また教育実習そのものや多くの先生方、生徒との出会いは一期一会で私たちの心に深く刻まれています。

特別支援学校実習

学校教育教員養成課程
特別支援教育コース

伊地知 愛さん

特別支援学校での教育実習を通じて、子供一人一人の実態に応じて手立てを工夫することの大切さを学びました。私自身、同じ授業でも子供それぞれのねらいを決め、それを達成するために言葉掛けや教材教具を工夫することに、初めは難しさを感じました。しかし、このような工夫によって、子供が安心感や学ぶ意欲をもって学習に向かっている姿を多く経験し、その重要性を改めて実感しました。

そして、子供との日々の関わりの中で、子供の「できた」瞬間や小さな成長に直面した時、それが教師にとっての「やりがい」なのだ学びました。実習は大変なこともあるかもしれませんが、教育現場で直接子供や先生方と関わることで学べることも多くあると思います。

4年次 教育実習II

3年次の教育実習とは別の校種の免許を取得するための実習です。

幼稚園実習

学校教育教員養成課程
中等教育コース家政科

秋元 若美さん

幼稚園教育実習で実際に幼児と関わる中で、「教師が、幼児理解に基づき、言葉掛けや環境設定に工夫を凝らすことの重要性」を学びました。幼児は好奇心旺盛で、想像力や感情表現が豊かであるため、教師の言葉掛け一つ一つに工夫を凝らすことが、幼児の姿や発達に寄与したり、安心感を与えたりすることと密接に繋がっていると感じました。

また、鹿児島大学教育学部附属幼稚園は自然豊かで、季節の自然物に触れることや、幼児の思いを反映させた遊びができる整った環境でした。だからこそ、幼児の興味や関心、主体性を促進するためには、幼児が思いのまま遊ぶこと、様々な経験をすることができるような環境設定の工夫が重要になることを実感しました。

附属中学校での実習の様子



附属特別支援学校での実習の様子



教育現場や地域と結びついた授業や事業

教育実習以外にも各教育現場や地域と協力をして、教育について学んでいます。

奄美での学校環境観察実習

2年生（定員40人）を対象とした学校環境観察実習は、教師をめざす学生たちが離島での教育現場を体験することにより、その後の講義や実習に対する意欲を高めるのが目的です。鹿児島県の公立学校の約半数は「へき地」にあります。実習には、将来、離島・へき地に赴任する際の不安や先入観を取り除くねらいもあります。1週間の学校実習では、奄美大島の小規模校を訪問します。各学校での授業観察や授業補助を行いながら、給食や清掃活動、スポーツなどの時間を児童・生徒とともに過ごします。実習終了後の報告会では、実習に参加した学生が各自の体験や学びの成果を発表します。学生からは「教師になるという目標をより強いものにすることができた」「小規模校は生徒一人ひとりと真剣に向き合える素晴らしい環境だった」などの感想があり、実習で大きな収穫があったことがうかがえます。



地域連携・ボランティア

本学部では鹿児島県内の各地域と連携し、学生サポーター、アシスタント等の派遣を行っています。現在は小学校複式学級ティーチング・アシスタント（日置市）、心のパートナー派遣事業（鹿児島市）、青松塾（いちき串木野市）、志アップ学習指導サポーター（志布志市）と連携しています。この参加を通して地域へ貢献するとともに、教職に関する実践的な力量も高められます。



各領域・学科について



本学部では、初等教育コースは2年次（ただし音楽、保健体育の学生は入学時）から、各領域（教育学・心理学）・学科（国語、社会、英語、数学、理科、技術、家政、美術）に所属します。配属は1年次のガイダンスや所属希望調査等を経て決定します。

中等教育コース（国語、社会、英語、数学、理科、技術、家政、音楽、美術、保健体育）及び特別支援教育コースは入学時から各学科・コースに所属します。

各コース、領域、学科における学びを深めた上で4年次に本格的に卒業研究を行います。



教育学領域 初等教育コース School Education



広い視野から学ぶ教育の本質

教育学領域では、学校教育の現実がかかえる諸問題はもとより、家庭や地域、さらには社会一般にまで視野を広げ、人間の可能性をめざす教育本来の姿を多面的に考察します。その意味で、教育学はひとつの総合的な人間科学だといえます。

教育学領域では、児童・生徒の教育に関するさまざまな専門分野を深めていきます。

学びの分野

- 西洋教育史
- 教育社会学
- 教師学
- 教育方法学

心理学領域 初等教育コース 中等教育コース Psychology Education



確かな人間理解を求めて

人間は、一人一人性格も、もの見方も考え方も違います。一人一人の子供の学習指導や生活指導を効果的に行い、将来の社会を担う健康な人間を育成するためには、教師自身はもちろんのこと、子供の心身の発達状態、心理的特性、および教育的環境を正しく理解することが大切です。心理学領域では、子供と心が通い、子供の自己実現を積極的に援助できる教師の育成をめざしています。



学びの分野

- 教育心理学
- 発達心理学

国語科 初等教育コース 中等教育コース Japanese Education



ことばと文字と文学との出会い

国語科では、国語学、国文学、漢文学、書道、国語科教育学を柱として総合的に学びます。講義、演習、講読、実技を通して、それぞれの専門分野を深めていきます。卒業論文は自らの希望する分野でテーマを決めます。秋に卒業論文中間発表会、翌年2月に卒業論文発表会があります。



学びの分野

- 国語学
- 書道
- 国文学
- 国語科教育学
- 漢文学

社会科 初等教育コース 中等教育コース Social Science Education



今、社会がおもしろい

社会科では、各分野の中で社会のしくみや動き、社会に生きる人間のあり方及びそれらの教育のあり方について、文献・史料の講読や調査などを通じて、認識を深め研究に取り組んでいきます。卒業論文は自分でテーマを決め、8月に卒業論文中間発表会、翌年2月に卒業論文発表会を行います。



学びの分野

- 歴史学
- 経済学・社会学
- 地理学
- 倫理学・哲学
- 法律学・政治学
- 社会認識教育学

英語科 初等教育コース 中等教育コース English Education



English Opens Up New Vistas for You!

言葉は使う人の心と、文化を映します。これからの国際社会に生きる人間を育成するためには、言葉に対する様々な角度からのアプローチが大切です。英語科では、様々な英文の韻文・散文を読み、言葉に対する想像力を高め、道徳的感性を養い、文化と人間に対する深い理解をめざします。また、海外留学も奨励しています。



学びの分野

- 英文学
- 英語学
- 英語教育学

数学科

初等教育
コース
中等教育
コース

Mathematics Education



子供の心に広がる数学の世界を考えよう

数学は、人類文化と幅広い関わりをもち、その発展に貢献してきました。また、数学的な思考を身につけることによって、ものごとを論理的に考察したり、直感的にイメージしたりすることができるようになります。数学科では、数学を通して子供たちの可能性を伸ばしていくことのできる教師としての資質を身につけるため、講義・演習が行われています。



学びの分野

- 代数学
- 幾何学
- 解析学
- 確率統計
- コンピュータ
- 数学教育学

理 科

初等教育
コース
中等教育
コース

Science Education



仲間とともに学ぶ自然

理科では、自然現象を科学の目でいかにとらえるか、そして、それを子供たちにどう教えるか、ということ学びます。そのための理論的・実験的アプローチと自然観察は欠かせません。物理学、化学、生物学、地学、理科教育学の5分野にわたって広く総合的に学びながら、いずれかの分野を選んでさらに深く追究し、そこで自らテーマを決めて卒業研究に取り組んでいます。



学びの分野

- 物理学
- 化学
- 生物学
- 地学
- 理科教育学

技術科

初等教育
コース
中等教育
コース

Technology Education



ものづくり教育は人づくり!! 一幼・小・中・高の技術教育をー

技術科は、「ものづくり教育は人づくり」を理念として、幼・小・中・高の各教科に関連する学び(ものづくり・栽培・環境)やものづくり教室等の社会教育における学びを追求しています。4年間で、実習と理論をつなぎあわせ、技術とその教育について学びます。詳しくはホームページをご覧ください。

↓
鹿児島大学 技術科



学びの分野

- 木材加工技術学
- 金属加工技術学
- 機械技術学
- 電気技術学
- 生物技術学
- 技術教育学
- 情報・制御技術学

家政科

初等教育
コース
中等教育
コース

Home Economics Education



Science, Creation, Better Life

家政科では、科学の進歩と人間生活の調和、生涯にわたる生活の中で関わる事象について学びます。食物学、被服学、生活経営学、住居学、保育学、家庭科教育学の各専門分野を総合的に学びながら、豊かさの実感ある生活の創造に向けて深く追究します。そして、男女協力して築いていく豊かな日常生活のあり方、生活の意義や楽しさを子供に伝えられる教師の育成をめざしています。



学びの分野

- 食物学
- 被服学
- 生活経営学
- 家庭科教育学
- 住居学
- 保育学

音楽科 初等教育コース 中等教育コース Music Education



人と心の泉から音符が踊り出す!

音楽科では、音楽教育を通して、たゆまぬ努力、調和、協調を根本精神とした人間教育をめざしています。声楽、器楽、指揮法、作曲法、音楽科教育学、音楽学などを広く総合的に学ぶと共に、各自の専門分野で熱心に研鑽を積んでいます。また、アンサンブルやコーラスを編成し、学内外や卒業演奏会においてその成果を発表し、各方面から注目されています。



学びの分野

- 器楽
- 声楽
- 音楽学
- 作曲
- 音楽教育学

美術科 初等教育コース 中等教育コース Art Education



美術はコミュニケーションだ!

ものをつくるということは自分を語ることであり、鑑賞するということは、つくった人の声を聞き取ることなのです。つまり、人と人とのコミュニケーションこそが美術の基本なのです。美術科では、絵画、彫塑、デザイン、工芸、美術理論及び美術史、美術教育学の6分野を広く総合的に学び、美術を通じた人間形成をめざしています。



学びの分野

- 絵画
- 彫塑
- デザイン
- 美術教育学
- 工芸
- 美術理論及び美術史

保健体育科 初等教育コース 中等教育コース Health and Physical Education



体育・スポーツ、保健の総合科学

体育・スポーツの実践は、心と身体、他者との相互作用という3要素を経験することであり、身体性・精神性・社会性にかかわる人間の全面的な発達にとって不可欠な文化的営みです。保健体育科では、体育・スポーツ、保健に関する系統的な学習を通して、運動の意義や楽しさを児童・生徒に伝えられる教師の育成をめざしています。



学びの分野

- 運動学
- 体育学・保健体育科教育学
- 保健学

特別支援教育コース Special Needs Education



基礎と臨床を融合した特別支援教育専門家の養成

特別支援学校に勤務する教師の養成を目的としたコースです。障害のある子供の自立(自律)と社会参加にむけた支援のあり方を求めて、基礎と臨床を融合させた研究・教育を行っています。特別支援学校の教師になるためには、基礎資格として小学校または中学校の基礎免許状を必要とします。本コースの専門科目の他に、小学校または中学校どちらかの教員免許状取得に必要な科目を履修します。3年次に小学校または中学校での教育実習と、特別支援学校での教育実習に臨みます。

カリキュラムの特色

基礎と臨床の結合

- 特別支援教育総論
- 障害児の発達検査法
- 発達障害医学
- 知的障害児の教育 I、II、III

特別支援教育に対応

- 肢体不自由児の心理・生理・病理
- 病弱児の教育総論
- 重複障害児教育総論
- LD・ADHD 等教育総論

学びの分野

- 障害児教育学
- 障害児心理学
- 障害児保健学

CAMPUS LIFE

それぞれのペースで
勉強と遊びを通して、
洗練された「自分」をつくる。



4

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 前期授業開始
- 学生定期健康診断



5

- 教員採用試験願書受付
- 介護等体験(～2月)
- 参加観察実習(～11月)



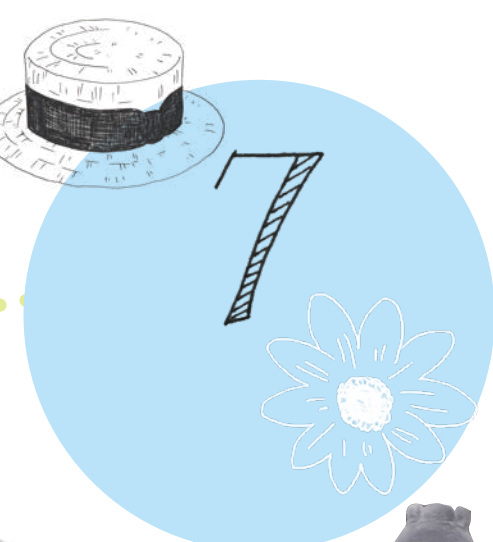
6

- 教員採用試験(一次試験)
- 学校体験実習(～11月)



7

- 夏季休業
- 夏季集中講義
- 教員採用試験(二次試験)



9

- 学校環境観察実習(2年次)
- 教育実習(3・4年次)



10

- 後期授業開始
- 大学院入試



11

- 大学祭
- 大学記念日



12

- 冬季休業



1

- 卒業論文提出
- 参加観察実習(特支)



2

- 教育実習(特支)
- 卒業論文・制作・演奏発表



3

- 幼稚園参観実習
- 卒業式



教育学部キャンパス

教育学部のあるエリアは広大で、郡元キャンパス(敷地面積351,918㎡)の約3分の1を占めています。鹿児島市街地中心部という立地ながら緑が多く、開放的な空間が広がっています。教員を目指す多くの学生・大学院生たちが、ここで研鑽を重ねています。

充実した教育・研究環境

教育学部の扱う学問の範囲は広く、しっかりと学習できるための施設が整備されています。コンピュータや視聴覚機器を備えた講義室、各分野ごとの実験室・演習室・実習室・資料室などがあります。体育関連では、グラウンド・体育館・球技場・テニスコート・武道場・屋内プールがあります。また、鹿児島大学附属図書館(中央図書館)などの教育・研究施設なども敷地に隣接しています。



郡元南食堂(エデュカ)



第一体育館



教育実践研究棟

寺山自然教育研究施設

教育学部より北へ約15km離れた標高300mの吉野台地にあり、自然環境に恵まれた約30haの教育研究施設です。実習や自然観察などの自然環境を活かした学習に最適です。

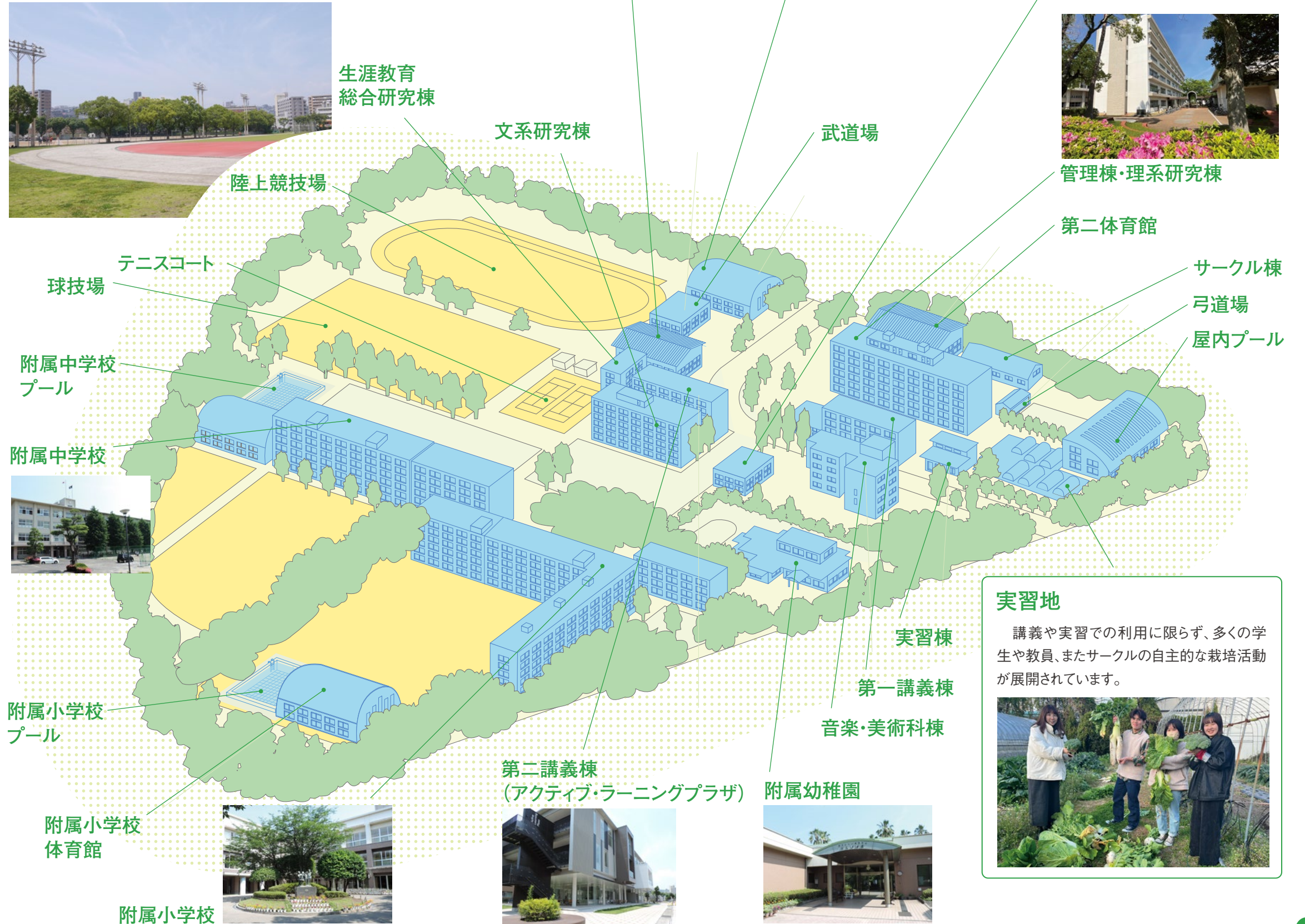


附属学校・園

教育実習校として、将来教員をめざす学生の指導に当たるほかに、子供の教育に関する研究への協力を行っています。



附属特別支援学校



実習地

講義や実習での利用に限らず、多くの学生や教員、またサークルの自主的な栽培活動が展開されています。



学生生活について



学費等について

- **入学科など**
 - 入 学 料 282,000円
 - 授 業 料 ◎前期分267,900円(◎年額535,800円)
※入学科・授業料とも改訂されることがあります。
 - 学生会費 20,000円
- **入学科・授業料の免除、徴収猶予**

経済的理由により入学科・授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な場合には、授業料免除・入学科徴収猶予の制度があります。また、入学前1年以内に学費を負担する予定だった人が亡くなったり、風水害の被害に遭ったことにより入学科・授業料の納付が著しく困難な場合には、授業料免除及び入学科免除・徴収猶予の制度があります。これらの制度は大学が定める基準等に基づき選考します。

福利厚生について

- **学生保険〔学生教育研究災害傷害保険〕**
体育実技や実験実習・課外活動中に、不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。このような正課中、学校行事中および課外活動中に被った災害・傷害に対する補償制度として、学生教育研究災害傷害保険があります。
- **大学生協**
大学構内に、学生・教職員の福利厚生のための鹿児島大学生活協同組合があります。食堂、書籍部、生活に必要なものを揃えている購買部の他、航空券、JR券等の発売、アパート・アルバイトのあっせんなどを行っています。



第二講義棟(アクティブラーニングプラザ)

奨学金について

- **日本学生支援機構**
日本学生支援機構は、学業成績が優秀であり、経済的な理由により就学が困難な学生に対し、学費の貸与・給付などを行っている団体です。貸与奨学金には、第一種(無利子)と第二種(有利子)があり、併用貸与も可能です。給付奨学金は、家計基準に応じた月額が給付されます。給付奨学金の受給と併せて第一種奨学金の貸与を受けている場合、第一種奨学金の貸与月額に制限がかかります。
- **鹿児島大学離島出身者スタートアップ奨学金**
鹿児島県内の離島地域に所在する小学校、中学校又は高等学校を卒業し、鹿児島大学に入学した学部生のうち、入学年度の本学前期分授業料免除を申請したうえで許可された学生を対象に、予算の範囲内で25万円を給付する制度です。

- **その他の奨学金**
日本学生支援機構の他に、都道府県市町村奨学金や各種団体奨学金があり、本人が直接出願するものと、大学を通して行うものがあります。なお、団体などによっては日本学生支援機構やその他の奨学金との重複採用を認めないことがあります。

詳細は以下を参照
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/shougaku/kikoun.html>



郡元南食堂(エデュカ)

Q1. 他学部でも教員免許状は取得できますが、教育学部との違いは何ですか？

教育学部では、他学部と異なって小学校や特別支援学校の教員免許状が取得できます。鹿児島県では、離島やへき地の小規模校が多いため、小・中・高校などの複数の教員免許状所有者を求めています。また、教育学部では教員免許状の取得が卒業要件となっており、教育現場を体験する機会も多いです。他学部の学生は、中・高校の教員免許状を取得するために、卒業単位とは別に教育学部で開講している授業も受講します。



Q2. 学校の教師になるのは難しいですか？

学校種や自治体によって採用状況は異なりますが、毎年多くの学生が採用試験に合格しています。教育学部の授業や学校実習では、実際に教師になった時の知識や技能、態度などを中心に学びます。それに加えて、教員採用試験の合格に向けた、学内外の教員採用試験の問題対策や面接・小論文対策の講座、説明会が用意されており、多くの学生が積極的に利用しています。

Q3. 海外留学を検討しているのですが...？

鹿児島大学のグローバルセンターでは、海外留学へと挑戦する学生を支援しています。また、鹿児島大学では世界中いろいろな国から留学生が勉強にきています。グローバルセンターを通じて、留学生と一緒に勉強したり議論したり、異文化交流もできます(詳しくは、鹿児島大学HPグローバルセンターをご覧ください)。



Q4. 体調管理については、どこで相談すればいいですか？

鹿児島大学の健康管理センターでは、定期健康診断や風邪やケガなどの診療、健康診断証明書の発行などを行っています。常勤の内科医、精神科医、保健師、カウンセラーで、一般診療やカウンセリングを行っています(詳しくは、鹿児島大学HP健康管理センターをご覧ください)。



Q5. 悩み事がある時は、どこで相談すればいいですか？

鹿児島大学には、みなさんの悩みや迷いに対する相談窓口として、学生なんでも相談室があります。また、障害学生支援センター(修学支援室)では、講義などの受講にあたって、特別な配慮や支援の申請を希望する学生の対応を行っています。(詳しくは、鹿児島大学HP学生何でも相談室または障害学生支援センターをご覧ください)。



Q6. サークルやボランティア活動について教えてください。

鹿児島大学には、文化系・音楽系・体育系の数多くのクラブ・サークルがあり、それぞれ個性的な活動を行っています(詳しくは、鹿児島大学HP学生生活をご覧ください)。
 ボランティア活動については、鹿児島大学では様々な団体がボランティア活動を行っています(詳しくは、鹿児島大学HPボランティア支援センターをご覧ください)。また、教育学部では学校教育現場でのTAなどのボランティア活動も行っています。



就職支援

● 就職支援・教員採用試験対策活動(令和7年度)

R7年4月 ● 鹿児島県 教員採用試験説明会・教職大学院の紹介

5月 ● プレインアカデミー 私立学校教員採用セミナー
ココヤリ 幼稚園・保育園採用セミナー
教員採用試験面接対策講演会①

6月 ● リクナビ自己分析・自己PR作成講座
教員採用試験面接対策講演会②

7月 ● 教採試験面接対策講座(退職校長会・教職支援室)
東京アカデミー 公務員採用セミナー

10月 ● 教職・就職ガイダンス
協同出版教員採用試験対策講座

教員採用試験 対策プログラム 1. 合格者の体験談 (採用試験に向けた準備について)
2. 教職教養(教育原理)

相模原市 教員採用試験説明会
東京アカデミー教員採用試験対策模試説明会

11月 ● 教員採用試験 対策プログラム 3. 教職教養(教育史)

川崎市 教員採用試験説明会
大分県 教員採用試験説明会
長崎県 教員採用試験説明会
熊本市 教員採用試験説明会

12月 ● 教員採用試験 対策プログラム 4. 教職教養(教育法規①)
5. 教職教養(教育法規②)
6. 教職教養(特別支援)

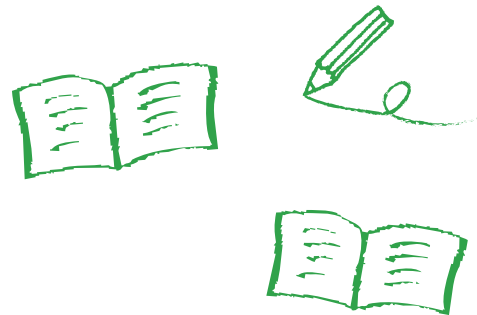
R8年1月 ● 東京アカデミー教員採用試験模試

2月 ● 東京アカデミー教員採用試験模試
福岡県 教員採用試験説明会

3月 ● 東京アカデミー教員採用試験模試



先輩からアドバイス!
教育学部公式YouTubeチャンネルの動画では、教員採用試験の勉強方法や、教育実習について先輩がアドバイスしてくれますよ。ぜひチェックしてみてください!



● コース別の進路データ

コース	年度	教員	公務員	一般企業	進学	その他
初等教育コース・中等教育コース	2023年度 卒業生数 192人	59.8% (115名)	8.3% (16名)	20.3% (39名)	6.8% (13名)	4.7% (9名)
	2024年度 卒業生数 177人	71.2% (126名)	5.6% (10名)	15.3% (27名)	5.6% (10名)	2.3% (4名)
	2025年度 卒業生数 170人	62.9% (107名)	12.4% (21名)	13.5% (23名)	7.1% (12名)	4.1% (7名)
特別支援教育コース	2023年度 卒業生数 10人	80.0% (8名)	0%	10% (1名)	10% (1名)	0%
	2024年度 卒業生数 20人	65.0% (13名)	10% (2名)	10% (2名)	10% (2名)	5% (1名)
	2025年度 卒業生数 18人	61.1% (11名)	5.6% (1名)	27.8% (5名)	5.6% (1名)	0%

※2026年4月1日現在(大学、短期大学、専門学校および国外の日本人学校等への教員就職者は一般企業への就職者に含める。大学附属学校教員は教員に含める。義務教育学校教諭は小学校教員に含める)

教員になるにあたって

本学部では、教員になるにあたって次のような支援に力を入れています。

● 試験合格に向けた教員採用試験対策講座

教員採用試験に向けた願書等の書類の作成から筆記試験対策、面接試験に至るまで、教育学部では各種講座や説明会を開催し、受験者をサポートしています。1年生から受講することができる講座もあります。



▲外部講師による講演



▲教員採用試験の合格者談

● 学生個々の教職キャリア形成を丁寧にサポート!

教職支援室は、教職について学部、学年を問わずだれでも相談できる場所です。それぞれの学生が、学部や大学院での日々の学びを充実させ、学び続ける教師になるための通過点である教員採用試験対策はもちろんのこと、教職についてすぐに役立つスキルも身につけることができるよう学部・大学院の教職員と連携してサポートに取り組んでいますので、積極的に活用してください。



▲就職コーナー



▲教職支援室スタッフによる面接等指導

● 採用前現場研修

教育学部では、教員採用試験合格後も安心して教職に就けるよう、サポートを行っています。より具体的には翌年度から教員として勤務する予定の学生の内、希望者を対象に、採用前現場研修を各種学校園(小・中・特別支援・幼稚園)で実施しています。4月からの着任前に教育現場を体験することができます。



● 過去3年間の教員就職先

2023年度		2024年度		2025年度	
鹿児島県公立小学校	(53)	鹿児島県公立小学校	(50)	鹿児島県公立小学校	(39)
鹿児島県公立中学校	(14)	鹿児島県公立中学校	(28)	鹿児島県公立中学校	(21)
鹿児島県公立高等学校	(5)	鹿児島県公立高等学校	(4)	鹿児島県公立高等学校	(4)
鹿児島県特別支援学校	(6)	鹿児島県特別支援学校	(4)	鹿児島県特別支援学校	(4)
宮崎県公立小学校	(2)	宮崎県公立高等学校	(4)	宮崎県公立小学校	(3)
宮崎県公立中学校		大分県公立小学校		宮崎県公立中学校	(2)
宮崎県公立高等学校		大分県公立中学校	(3)	宮崎県公立高等学校	(2)
大分県公立中学校		熊本県公立小学校	(10)	大分県公立小学校	
熊本県公立小学校	(5)	熊本県公立中学校	(3)	大分県公立高等学校	
熊本県公立中学校	(4)	長崎県公立小学校	(2)	熊本県公立小学校	(11)
熊本県公立高等学校		佐賀県公立中学校		熊本県公立中学校	(5)
熊本県特別支援学校		佐賀県公立高等学校		長崎県公立小学校	(2)
長崎県公立小学校	(4)	福岡県公立小学校	(8)	福岡県公立小学校	(7)
長崎県公立中学校		福岡県公立中学校	(4)	福岡県公立中学校	(2)
長崎県公立高等学校		福岡県公立特別支援学校	(3)	福岡県公立高等学校	
福岡県公立小学校	(3)	愛媛県公立小学校		福岡県公立特別支援学校	
福岡県公立中学校	(5)	広島県公立小学校		栃木県公立小学校	
福岡県公立高等学校	(3)	兵庫県公立中学校		埼玉県公立高等学校	
福岡県特別支援学校		岐阜県公立高等学校		千葉県公立小学校	
岡山県公立高等学校		神奈川県公立小学校	(3)	千葉県公立特別支援学校	
神奈川県公立小学校	(2)	東京都公立中学校		神奈川県公立小学校	(2)
神奈川県特別支援学校	(2)	埼玉県公立特別支援学校		愛知県公立中学校	
鹿児島実業高等学校		学校法人池田学園池田中学校		愛知県公立高等学校	
ラ・サール学園		鳳凰高等学校		大阪府公立小学校	(2)
学校法人宮崎学園		鹿児島情報高校		大阪府公立中学校	
追手門学院		大阪金剛インターナショナル小学校		山口県公立高等学校	
学校法人橋口学園認定こども園		鹿児島国際大学附属鹿児島幼稚園		鹿児島大学教育学部附属中学校	
学校法人大原幼稚園		学校法人隈元学園ヶ峯幼稚園		学校法人創志学園 クラーク記念国際高等学校	
		学校法人飯倉学園飯倉幼稚園		学校法人 三幸学園	
				学校法人精道学園精進三川台高等学校	

● 主な進学先 (2025年度)

鹿児島大学大学院教育学研究科(教職大学院)
 鹿児島大学大学院臨床心理学研究科
 熊本大学大学院教育学研究科(教職大学院)
 九州大学大学院人文科学府
 広島大学大学院人間社会科学研究科
 京都教育大学大学院連合教職実践研究科(京都連合教職大学院)
 京都市立芸術大学大学院音楽研究科
 東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)
 東京大学大学院教育学研究科
 筑波大学大学院



卒業生からのメッセージ

鹿児島大学の魅力

乙田 ころろさん



▶ 霧島市立国分小学校

2023年3月卒業
 学校教育教員養成課程中等教育コース(理科)

私は現在、国分小学校で元気いっぱいの子供たちと楽しい毎日を過ごしています。

教育学部では、自分の専門の教科だけでなく、様々な校種や教科の免許を取得することができます。私は中学校理科が主ですが、大学の講義や教育実習、ボランティアでの子供たちとの関わりを通して、小学校の先生になりたいという気持ちが強くなりました。また、学科に教員志望の仲間が多く、勉強のモチベーションにつながりました。皆さんが教育学部で充実した大学生活を過ごし、自分の夢を叶えられることを応援しています。

自分を見つめる4年間に

内村 海輝さん



▶ 南九州市立知覧中学校

2023年3月卒業
 学校教育教員養成課程中等教育コース(保健体育)

私は高校生のときから教員になりたいと思い、地元である鹿児島大学に入学しました。在学中に、「本当に教員で良いのか」という迷いや不安がありましたが、教員として働くための御指導や御助言をくださった先生方や先輩、同期に恵まれ、今の自分があると思います。また、学科を越えた横のつながりや複数免許を取得したことが、自分自身の強みになっていると思います。

在学中には、部活動やボランティア活動、サッカーの指導や審判の資格など様々な経験ができました。自分でアンテナを張ることができれば可能性は広がります。ぜひ鹿児島大学で頑張ってください。

自分を好きになれる大学

黒木 蘭さん



▶ 宮崎県立延岡高等学校

2024年3月卒業
 学校教育教員養成課程中等教育コース(国語)

新しい生活に胸を躍らせて、鹿児島大学に入学したことを今でも鮮明に覚えています。教育学部では各科目の専門的知識や指導方法、教育問題や教育心理、子供理解など多様な観点から「教育」について学ぶことができます。またサポートも手厚く、教員採用試験対策講座や教職支援室には在学時お世話になりました。

同期や教授との出会いに恵まれ、有意義で楽しい大学生活を送ることができました。「私が教員なんて…」と思っていましたが大学の講義や教育実習、アルバイトを経験する中で、新しい自分になりました。

鹿児島大学で夢を叶えてみませんか。

4年間で得られた宝物

富部 鈴夏さん



2024年3月卒業
 学校教育教員養成課程中等教育コース(音楽)

鹿児島大学教育学部では、1年次から学校現場を体験できる機会があり、3年次実習や教員採用試験に向けて経験を積むことができます。授業準備や実習中は大変だと思うこともありましたが、学校実習での出会いや経験は、教員になった今でも活きており、私の大切な宝物になっています。

また、在学中には演奏会企画や小中高校の吹奏楽部指導など音楽科としての経験だけでなく、学部YouTube撮影など様々な経験ができました。是非皆さんも鹿児島大学教育学部で充実した学生生活を送ってください。そして、教育現場で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

動画で本学部の様子を知ることができます。

教育学部公式YouTubeチャンネル



募集要項

「アドミッション・ポリシー」

【教育学部が求める人材像】

- 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
- 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- 自分の人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

鹿児島県には、離島やへき地の小規模校が多くあります。そのような地域の教育ニーズに応えるために、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園の複数の教員免許が取得可能なカリキュラムを提供しています。



令和9年度入学者選抜 教育学部募集人員

学科等		入学定員	募集人員					国際バカロレア選抜	私費外国人学部留学生選抜
			一般選抜		学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	一般枠 15 地域枠 9		
			前期日程	後期日程					
初等教育コース	一般	190	68	6					
	音楽						5		
保健体育						9			
中等教育コース	国語		5				3		
	社会		3				2		
	英語		6				2		
	数学		6				2		
	理科		5				3		
	技術		3			2			
	家政		3			2			
音楽	3			2					
美術	3			2					
保健体育	6								
特別支援教育コース		11	4						
合計		190	122	10	8	50			

若干人
※初等教育コース音楽及び保健体育を除く。

若干人
※初等教育コース音楽及び保健体育を除く。

※入学者選抜に関する詳細については、鹿児島大学ホームページや学生募集要項で確認してください。

地域教員希望枠(令和9年度～)

鹿児島県は、南北およそ600kmに広がる日本でも特別な地域です。

海に囲まれた「離島」や、山あいにある「へき地」にも学校があり、そこでは少人数や複式学級で学ぶ子どもたちがいます。地域教員希望枠で入学した学生は、こうした「離島・へき地」の学校で教育実習を行い、実際の教育現場から多くを学びます(※実習には別途経費がかかります)。

ICTを活用した授業づくりにも取り組みながら、地域に寄り添い、子どもたちの学びを支える「地域教育の実践者」としての力を身につけていきます。



交通機関

- ・JR鹿児島中央駅から徒歩約30分
- ・市営バス(10番・11番・20番)「法文学部前」下車徒歩約5分
- ・鹿児島交通バス(15番)「鹿大教育学部前」、(18番・19番・29番)「法文学部前」下車徒歩約5分
- ・南国交通バス(11番・14番・19番)「鹿大教育学部前」、(19番・39番)「法文学部前」下車徒歩約5分
- ・市電「工学部前電停」下車徒歩約10分
- ・JR指宿枕崎線「郡元駅」下車徒歩約10分

